	⑹　局ごとに、⑴及び⑸で算定した音声系ＣＷＤＭ10Ｇインタフェース数、音声系ＣＷＤＭ低速10Ｇカード数及び音声系ＣＷＤＭユニット数についてそれぞれ合計したものを当該局の音声系冗長化後ＣＷＤＭ10Ｇインタフェース数、音声系冗長化後ＣＷＤＭ低速10Ｇカード数及び音声系冗長化後ＣＷＤＭユニット数とする。 5　ＸＣＭ（クロスコネクト装置をいう。以下同じ。）の設備量算定 ⑴　コア局ごとに、加入者交換機接続回線数に0.5を乗じたもの及び中継交換機接続回線数の合計を当該局のＩＣ接続回線数とし、これをチャネル切上単位（52Ｍ）、伝送装置収容率及びＸＣＭ１ユニット当たり52Ｍパス数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）を当該局のＸＣＭユニット数とする。 ⑵　⑴のＩＣ接続回線数及びＸＣＭユニット数を基に、ＸＣＭ局内156Ｍインタフェース数、ＸＣＭ局間52Ｍインタフェース数、ＸＣＭ局間156Ｍインタフェース数、ＸＣＭ増設リンク数、ＸＣＭ空間スイッチユニット数、ＸＣＭ基本架数及びＸＣＭ接続架数を算定する。 6　投資額の算定 次の算定式により局ごとＰＴＮ投資額、局ごとＣＷＤＭ投資額及び局ごとＸＣＭ投資額を求め、全ての局についてそれら投資額を合算し、ＰＴＮ投資額、ＣＷＤＭ投資額及びＸＣＭ投資額を算定する。 局ごとＰＴＮ投資額 ＝（音声系冗長化後ＰＴＮ低速インタフェース混在ボード数×ＰＴＮ低速混在インタフェースボード単価 ＋音声系冗長化後ＰＴＮユニット数×ＰＴＮユニット単価 ＋音声系冗長化後ＰＴＮ2.4Ｇ高速インタフェース数×ＰＴＮ2.4Ｇ高速インタフェースポート単価 ＋音声系冗長化後ＰＴＮ10Ｇ高速インタフェース数×ＰＴＮ10Ｇ高速インタフェースポート単価） ×（１＋クロック供給装置投資額加算率） 局ごとＣＷＤＭ投資額 ＝（音声系冗長化後ＣＷＤＭユニット数×ＣＷＤＭユニット単価 ＋音声系冗長化後ＣＷＤＭ低速10Ｇカード数×ＣＤＷＭ低速10Ｇカード単価 ＋音声系冗長化後ＣＷＤＭ10Ｇインタフェース数×ＣＷＤＭ10Ｇインタフェース単価） ×（１＋クロック供給装置投資額加算率） 局ごとＸＣＭ投資額 ＝ＸＣＭ基本架数×ＸＣＭ基本架単価 ＋ＸＣＭ接続架数×ＸＣＭ接続架単価 ＋ＸＣＭ局内156Ｍインタフェース数×ＸＣＭ局内156Ｍインタフェース単価 ＋ＸＣＭ局間52Ｍインタフェース数×ＸＣＭ局間52Ｍインタフェース単価 ＋ＸＣＭ局間156Ｍインタフェース数×ＸＣＭ局間156Ｍインタフェース単価 ＋ＸＣＭ増設リンク数×ＸＣＭ増設リンク単価 ＋ＸＣＭ空間スイッチユニット数×ＸＣＭ空間スイッチユニット単価 ＋ＸＣＭユニット数×ＸＣＭユニット単価
中間中継伝送装置	1　収容局とコア局間に設置するＣＷＤＭ用中間中継伝送装置の設備量の算定 ＣＷＤＭを設置する収容局ごとに、収容局とコア局間の伝送距離をＣＷＤＭ用中間中継伝送装置平均距離で除した中間中継伝送装置設置箇所数（１に満たない端数は、切り捨てるものとする。）に、音声系冗長化後ＣＷＤＭユニット数を乗じたものを当該局の音声系冗長化後ＣＷＤＭ用中間中継伝送装置ユニット数とする。 2　コア局間に設置するＣＷＤＭ用中間中継伝送装置の設備量の算定 ＣＷＤＭを設置するコア局間の区間ごとに、コア局間の伝送距離をＣＷＤＭ用中間中継伝送装置平均距離で除した中間中継伝送装置設置箇所数（１に満たない端数は、切り捨てるものとする。）に、当該区間の音声系コア局渡りＣＷＤＭユニット数を乗じたものを当該区間の音声系ＣＷＤＭ用中間中継伝送装置ユニット数とし、当該区間の両端に位置するコア局のうち片側の局に設置するものとみなす。 3　ＰＴＮ用中間中継伝送装置の設備量の算定 ＰＴＮを設置するループごとに、ループ延長をＰＴＮ用中間中継伝送装置平均距離で除した中間中継伝送装置設置箇所数（１に満たない端数は、切り捨てるものとする。）から当該ループに属するＰＴＮ局数を減じ、当該ループのＰＴＮリング心線数（音声系に係るものに限る。）を乗じたものを当該ループの音声系ＰＴＮ用中間中継伝送装置ユニット数とし、当該ループ内のＰＴＮ局のうち収容回線数が最も多い局に設置するものとみなす。